



出雲・石見と瀬戸内海を 結ぶ要衝のまち

かべゆめかいどう

可部夢街道

平成 25 年度認定 / 広島市安佐北区 / かべ夢街道まちづくりの会
可部カラスの会

山繭織、醸造、鋳物で栄えた町の面影を伝承する。

出雲街道、石見街道の結節点として各地から人、モノを舟で城下町広島に運ぶ交通の要衝として栄えたまち「可部」。戦国時代に高松城の城下町として熊谷氏がその基礎を築きました。当時の名残として、敵の勢いを殺ぐために直角に曲がった「折り目」と呼ばれる道筋が残っています。江戸時代に入ると山繭織の商い、酒・しょうゆの醸造など

が盛んに行われたほか、太田川上流で採れた砂鉄を利用して鋳物業が興り、可部は物資の集散地として商家町の性格を強めていきました。これらの産業は今でも脈々と受け継がれ、JR 可部駅を降り立つと可部の三大産業である「山繭（樫の木）」「醸造（水）」「鋳物（大釜）」を表したモニュメントが迎えてくれます。



「舟神さん」として親しまれている
明神公園に建つ鉄灯籠

駅の東口すぐには明神公園が。この地は舟運が廃止される昭和初期まで、「船入堀」と呼ばれる川船の発着場があった場所で、あたりは商家、旅館、料亭、劇場などが軒を連ねた華やかな歓楽街でした。

可部の旧街道に入ると醤油醸造所や造り酒屋、旧山繭問屋などの建物が所々に見られます。古くから残る建物の多くは、瓦葺、漆喰塗の土蔵造りで、家と家の境には卯建が取り付けられています。これらは、18世紀前半に数回の大火に見舞われたことをきっかけとして設けられた厳しい規制のもと整備され、18世紀後半には現在に見られ

太田川舟運に栄えた 一大宿場町。



花の散歩道
プランターに心が和む



土蔵造りに卯建のある建物が
残る町並み

る町並みが形成されたそうです。その中でも一際目立つのは、築 150 年の山繭織問屋を改装した「可笑屋」。今では、コミュニティスペースとして地域に愛される交流の場として活用されています。

旧道から西に入ると花の散歩道に。道すがらには、髭がなんととも親近感のあるお地蔵様「ひげ地蔵」や「可部南原屋廣金造り事件」で非業の死を遂げた木坂文左衛門の墓のある勝円寺に立ち寄ることができます。街道筋とともに、町並みづくりが行われており、地元の方が飾る季節の花が心を和ませてくれます。

古民家の活用で、趣のあるまちづくりを進めていきます。



「可部カラスの会」代表の友広大造さん(左)と「かべ夢街道まちづくりの会」大旦那の辻英明さん(右)

可部駅の西口広場の改修をきっかけに発足した「かべ夢街道まちづくりの会」と可部の魅力発掘事業を機に発足した「可部カラスの会」とが連携し、可部夢街道再生の活動は始まりました。町並み保存に関する勉強会などを行うとともに、町めぐり等のイベント開催や清掃活動、季節の花で通りを飾る「花の散歩道」の整備などを通じ、魅力あるまちづくりに取り組み、平成 25 年には町並みづくりのガイドラインも決めました。今後は、古民家を残しつつ趣ある町並みづくりを進めていきたいと思っています。



- ①千代の松
- ②可部駅西口広場(モニュメント)
- ③可愛(えの)神社
- ④笹木元旅館
- ⑤中野家
- ⑥清水清六氏の石碑
- ⑦品窮寺(岩田万助の碑、水害碑)
- ⑧八幡神社
- ⑨ひげ地蔵
- ⑩勝円寺(木坂文左衛門の墓)
- ⑪可笑屋(山まゆ間屋)
- ⑫三木家
- ⑬西村醤油
- ⑭永井家
- ⑮白石酒造
- ⑯可部公民館
- ⑰旭鳳酒造
- ⑱願船坊(がんすことばの碑)
- ⑲元可部貯蓄銀行の蔵
- ⑳塚本家(山まゆ間屋)
- ㉑増井醤油
- ㉒久保田酒造
- ㉓中川醤油
- ㉔佐々木省吾先生の碑
- ㉕明神社
- ㉖鉄燈籠(明神公園)



がんすことばの碑は、可部の方言“がんす言葉”で書かれています。

交通 ● 可笑屋まで
広島北ICから車で約15分
JR可部駅から約0.9km

お問い合わせ ●
かべ夢街道まちづくりの会
☎082-812-2750
安佐北区地域起こし推進課
☎082-819-3905

ぶらり歩いてみよう

鉄燈籠

26

太田川舟運の発着場「船入堀」があった場所。舟運の廃止後、1953年、埋立てられ、明神公園になりました。

明神公園

21

可部町諸物業の歴史を伝える最古の遺品です。諸物業三宅惣左衛門により建造されました。川船の発着場だったため、毎晩灯がともされていました。

増井醤油醸造場

21

1930年頃に建てられた醸造業の商家。卯建や、格子窓があります。

折り目

敵の勢いを殺ぐために直角に曲がった道筋は戦国時代の名残。

旭鳳酒造

17

1869年に建てられた創業200年以上の造り酒屋です。可部の名酒を試飲できます。

勝円寺

10

醸造業をしていた南原屋当主の木坂文左衛門のお墓があります。

ちょっとウンチク

「可部南原屋賈金造り事件」

醸造業をしていた大商人の木坂文左衛門は、当時財政難であった広島藩に賈金を製造するよう命じられ、職人を集め、賈金を製造していた。賈金作りがばれ、出頭した文左衛門は皆に迷惑はかけたくないと、自分ひとりで罪を背負う。記録に残っている限りで31万枚製造されているが、1枚も見つかっていない。精密で本物と見分けがつかないほど、可部の醸造技術が高かったといえる。

ひげ地蔵

9

体の悪い部分と同じところをなでると気持ちが安らぐというわけがあります。

JR可部駅 西口広場

2

可部地区の三大産業だった、醸造の水、鑄物の大釜、山まゆの榎の木のモニュメントがあります。

ガイドさんと歩きませんか?

可部夢街道もてなし隊(可笑屋)

TEL : 082-847-5508

イベント・活動

10月 可部の町めぐり

食べて、飲んで楽しむ町めぐり

可部夢街道を中心とした可部の町並みを見て、食べて、飲んで楽しむ町めぐりです。

5月下旬 大文字祭り

200年以上の伝統を持つ火難よけの神事といわれています。高松山の中腹ともされる「大」の文字とともに、川辺を彩る灯火が幻想的。

清掃活動

可部駅西口広場の清掃

平成20年から週4日、地元の20団体でトイレと歩道の清掃活動をしています。

根の谷川の清掃

平成10年から毎年2回、約500人のボランティアで清掃活動をしています。

花の散歩道の整備

平成16年より沿道500mにプランター200個を置き、住民とともに植えつけ、水やりをしています。

可笑屋

山藁織間屋であった築150年の商家を売店、喫茶店を含むコミュニティースペースとして改装。古代米に16品の料理が付いた「古代米定食」が食べられます。展示会やコンサートなどの会場としても利用され、賑わいづくりの拠点となっている施設です。

みんなが集まる交流施設

可笑屋

山藁織間屋であった築150年の商家を売店、喫茶店を含むコミュニティースペースとして改装。古代米に16品の料理が付いた「古代米定食」が食べられます。展示会やコンサートなどの会場としても利用され、賑わいづくりの拠点となっている施設です。

オススメ周辺情報

- 福王寺
- 熊谷次郎直実の子孫の遺跡(三入)
- 高松城址